**【マンダフ～ナランの会】について**

**マンダフ～ナランはモンゴル語で「朝日」を意味しています。**

**モンゴルの大草原に真っ赤な太陽が顔を出し、モンゴル人の元気の源になっているイメージを表しています。**

**代表の前田ハンダ（モンゴル・ウランバートル出身）が、2006年の国民文化祭において、山口県が招聘したモンゴル国立芸術文化大学一行（ホーミー・モンゴル舞踊・馬頭琴）の担当をしたことがきっかけで、山口の人にモンゴルのことをより知ってもらうため「マンダフ～ナランの会」を設立して以来、国際活動団体としてイベントへの出展や、モンゴル文化講座・料理講座など県内各地でモンゴルの紹介をしています。**

**また、モンゴルの小児癌の子どもたちを支援する活動では、モンゴルでも知られた団体となっています。会では、モンゴルへの理解を深めていただくためモンゴルツアーを企画し、毎年モンゴル訪問を続けており、地元紙サンデー山口の協力を得て、市民より寄せられた薬の副作用を和らげる効果のある緑茶や、車椅子・点滴スタンド・注射針などの医療器具を届けています。**

**現在、山口を本部として東京支部・福岡支部の会員も増え、会の活動に賛同した台湾・韓国の支部も発足するなど、さらに国際的な活動を目指しています。**

**会の活動を通して、近くて遠い国モンゴルへの理解と、モンゴル小児癌センターへの支援を続けています。**

**【組織】**

代表　前田ハンダ（モンゴル国自然環境観光省特使）

会長　　西田健一（医療法人社団向陽会阿知須同仁病院会長）

副会長　西本哲明（前山口県薬剤師会会長・西本薬局グループ社長）

顧問　　江里健輔（山口県立大学長）

事務局　砂村幹夫（医療法人社団向陽会阿知須同仁病院）

　　　　平田博子（山口大学時間学研究所）

**【お問い合わせ先】**

〒754-1277山口市阿知須4241-4　医療法人社団向陽会阿知須同仁病院

電話：090-9468-8840(砂村)

事務局：　砂村幹夫**sunamura@dohjin.com**

**年会費　1,000円**

**モンゴルに興味のある方はどなたでも入会できます。 入会申込みは事務局まで**